

令和2年度

事業報告書

自 令和2年 4月 1日
至 令和3年 3月31日

公益財団法人下関海洋科学アカデミー

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

1. 事業概要

当財団は指定管理者として下関市より下関市立しものせき水族館「海響館」の管理運営事業を受託し、地域社会への貢献に努めるとともに、自然と人との共存を実感できる観光・レクリエーション・学習施設として、教育的配慮のもとに展示や運営による「市民が誇れる水族館、やさしい水族館、楽しい水族館」を目指した活動を行いました。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、下関市の決定を受け、令和2年4月4日から6月18日までの76日間を臨時休館とし、令和3年1月21日から3月7日までの46日間の営業時間を17時まで短縮しました。

また、状況に応じて各種のイベントや企画展などを中止し、令和2年3月1日から新規開設予定であったペンギン村キッズコーナーの使用中止を継続した他、来館者の時間的分散を目的に、例年の「夜の水族館」に替わって、繁忙期となる7月23日から26日および8月1日から23日の計27日間は、イルカショーなどの館内イベントを伴わない内容で営業時間を20時まで延長しました。

なお、臨時休館中は常用発電設備の運転や照明時間の抑制など省エネに努めた他、営業したままでは実施が困難な事項を中心に館内整備を進めました。また、来館者に安心安全な施設であるための各種コロナ感染防止対策を施し、6月19日より営業を再開しました。しかし、9月7日は台風10号の接近のために臨時休館しました。

お客様の利便性を向上させるため、館内のWi-Fi環境の維持やロッカーの設置場所の変更などを行いました。

公益事業については、コロナ感染防止対策を念頭に「海響あーとコンテスト」、ハロウィンやクリスマスなど季節感を盛り込んだイベントを開催しました。また、より魅力的な展示となるように展示全般の見直しを行った他、令和2年度がテーマの変更年であった「ズームアップふぐの不思議」の大幅リニューアルを実施しました。また、年度末には、開館20周年のイベントとして、館内の装飾及び特別展示を実施しました。

展示生物の繁殖では、フンボルトペンギン1羽、ジェンツーペンギン1羽を孵化後6ヶ月成育達成により台帳登録した他、魚類・無脊椎動物・海藻類においては25種について繁殖に取り組みました。なお、スナメリ1頭が妊娠しましたが、残念ながら流産となりました。

長期飼育の取組では、飼育年数20年以上の個体がバンドウイルカなど海獣類で11頭、ペンギン類で11羽、魚類では4種8個体が現存している他、マンボウの展示個体および予備個体が搬入から4年目を迎えました（尚、現展示個体は令和3年4月25日に5年目を迎え、同年6月27日に国内歴代9位の飼育記録を更新の予定）。

当館所属バンドウイルカの凍結精子を用いた人工授精の結果、新江ノ島水族館において令和2年4月21日に仔獣が誕生し、順調に成育しています。

野生生物のうち特にウミガメ類の混獲や鯨類のストランディングの調査を継続実施した結果、ウミガメ6件、鯨類ストランディング22件、目撃情報8件に対応しました。

開館時から使用していた4トン活魚運搬車の更新をはじめ、館内各所で認められた漏水など経年劣化・老朽化に対処しました。

ノルウェーのトロムソ博物館関係者により隔年実施されるシロナガスクジラ全身骨格の保守検査は、令和3年3月に実施の予定でしたが、コロナ禍により来日できない為に令和3年11月に延期となりました。

下関市が進める「海響館改修基本計画」ならびに新型コロナウイルス感染症対応「地方創生臨時交付金」を利用した「市立しものせき水族館床及びトイレ改修実施設計業務」及び「市立しものせき水族館入館管理システム等導入業務」に協力しました。

コロナ禍ではありましたが、一般社団法人日本水族館協会の運営を牽引し、オンラインでの諸事業に積極的に参加しました。尚、石橋館長が協会長を、立川副館長が鯨類長期飼育・繁殖推進委員会委員および情報委員会委員を、和田参事が事務局員および情報委員会委員を、河村海獣展示課班長がトレーニングセミナー実行委員を、園山魚類展示課班長が水族館研究会実行委員を務めています。一方、公益社団法人日本動物園水族館協会の種の保存に関する海獣類、ペンギン類の血統登録調査にこれまで通り協力しました。

開館以来継続して実施していました宿直制度を一旦停止し、小松・ワローホールの夜間警備を機械警備に切り替えるなど業務見直しと経費節約に努めました。

収益事業については、2階休憩コーナーで新たなテナント事業として「真珠取り出し体験イベント」を開始しました。

新型コロナウイルスによる影響を主因とし、令和2年度入館者数は267,311人（前年度対比51.23%、目標対比45.31%）となりました。

海響館サポーターズクラブは単年度で、ライムサポーター1,065名、オレンジサポーター507名、ブルーサポーター3,695名、レッドサポーター4社、ゴールドサポーター5名の新規・更新会員を獲得し、賛助会員会費収入は13,161,350円（前年度対比入会者：73.16%、賛助会員会費収入：75.19%）となりました。尚、臨時休館中の期間を考慮して当該会員に4ヶ月の有効期間の延長を行った結果、前年度の会員1,336名が繰り越すこととなり、令和元年度までのゴールドサポーターの233名を加え、年度末会員数は合計6,845名でした。

2. 事業内容

(1) 生物に関する資料の収集、輸送及び飼育に関する事業

- ① 生物収集は、自家採集ならびに直接購入、自家輸送を積極的に実施し、東海大学海洋科学博物館など6館より生物交換を含む生物搬入を実施しました。
- ② 奄美大島周辺海域にてアマミホシゾラフグの採卵を行い、孵化飼育実験に取り組んだ結果、これまでの最長となる孵化後69日までの育成に成功しました。
- ③ 山口県下で収集したアンコウ2匹の飼育展示を継続したほか、カエルアンコウ類についても長期飼育を試行中です。
- ④ 群生展示を目的に、現地でポリプからプラヌラ幼生を採取し育てたニホンアワサンゴは最長で3年6ヶ月が経過し、約3.5cm径のサイズに成長しました。
- ⑤ サンゴ類やクラゲ類など刺胞動物の収集、飼育を推進し、海響館初展示となるニホンベニクラゲを飼育展示した他、イボヤギ類の飼育技術向上を果たしました。
- ⑥ 海獣類用人工餌料の実用化試験に、新江ノ島水族館が新たに研究協力として加わりました。また、粗脂肪の割合やビタミン添加の検討、常温による長期保存などを含めた実用化試験を継続しています。
- ⑦ バンドウイルカの人工授精に係る技術獲得に関しては、コロナ禍のため新たな精液採取や凍結保存を実施できませんでしたが、平成30年に施術した新江ノ島水族館のメスが令和2年4月21日に出産し、仔獣は順調に成育中です。
- ⑧ マカロニペンギンの人工授精を施しましたが成功しませんでした。フンボルトペンギンについ

ては、鳥インフルエンザ感染防止対策のため、人工授精を実施しませんでした。

- ⑨ 展示魚の収集ネットワーク構築を兼ねて、長崎県の養殖業者よりトラフグ養殖個体を、鹿児島県の漁業者よりアカシユモクザメを購入し、搬入しました。
- ⑩ イカ類の通年展示に努めた結果、6～7月の25日間以外でイカ類を継続展示するとともに繁殖したコウイカとカミナリイカの幼体も展示することができました。
- ⑪ 飼育下繁殖に取り組んだ結果、海響館では初めて日本固有種であるヤマトシマドジョウの繁殖に成功しました。
- ⑫ 平成28年の春に生まれたバンドウイルカ2頭は順調に成育し、まもなく5歳となります。
- ⑬ ブリーディングローンとして長崎ペンギン水族館にキングペンギン1羽、ミナミイワトビペンギン2羽を搬出しました。血統を考慮した繁殖計画に基づきジェンツーペンギン1羽を繁殖により増やしました。

(2) 生物の保護及び保全に関する事業

- ① 下関周辺でのウミガメの情報収集及び産卵調査の結果、漂着や混獲など6件（3種4頭、不明2種2頭）に対応しました。
- ② チリ国立サンチアゴ・メトロポリタン公園付属動物園との交流を継続し、国際ペンギンデー（4月5日）に際し、メッセージビデオを送付しました。
- ③ 鯨類のストランディング2種22件に対応しましたが、いずれも死亡個体でした。
- ④ 瀬戸内海西方海域スナメリ協議会の活動の一つとして、飼育下スナメリの性ホルモン濃度の測定などを継続したほか、スナメリの食性研究、成長に関する研究について検討を始めました。
- ⑤ 周防大島沖に群生するニホンアワサングの生息域外保全の取り組みとして、周防大島町地家室園地活用推進協議会委員の委嘱を受けました。

(3) 調査研究に関する事業

- ① 飼育中の両生類、魚類、無脊椎動物、海藻類において、25種の繁殖に取り組みました。
- ② 下関周辺に生息する水生生物についての調査では、「オオサンショウウオの分布調査」、「ヤマトシマドジョウA型の飼育繁殖の試み」、「山口県日本海側で採集されたニホンウナギ（ギンウナギ）の生態調査」を開始しました。
- ③ プロジェクターの映像を用いた手法によるバンドウイルカの認知に関する東海大学との共同研究を継続しました。
- ④ 鯨類の座礁、混獲などへの対応や鯨類に関する調査・研究では、漂着などした死亡鯨類22件（スナメリ21頭、ナガスクジラ1頭）の情報を得て、解剖などにより得られたサンプルを所定の研究機関に送付し、ストランディングデータベースに記録した他、8件の目撃情報として2種（スナメリ、ハセイルカ）及び不明6種を目撃情報データベースに記録しました。
- ⑤ 山口大学、東京海洋大学、水産大学校などの大学、新江ノ島水族館、山口県水産研究センター、萩博物館、目黒寄生虫館などの研究機関それぞれと、令和2年度中は27件の共同研究を進め、27件の研究協力を行いました。
- ⑥ 研究誌に主著者として3題の論文が掲載された他、日本水族館協会主催の第1回水族館研究

トレーニングセミナー、日本水産学会春季大会、第39回日本動物行動学会、日本野生動物医学会などにオンラインにて参加し、5題の口頭発表を行いました。また、共同研究の共著発表として4題（口頭発表1題、ポスター発表1題、論文発表2題）がなされました。

- ⑦ Web開催された第29回ペンギン会議全国大会に参加しました。また、ペンギン会議との連携によるチリ国立サンチアゴ・メトロポリタン公園付属動物園との交流などを継続しています。
- ⑧ 立川副館長が International Marine Animal Trainers' Association (IMATA) の機関誌（サウンディングス）の地域レポーターを引き続き務めました。

(4) 普及啓発に関する事業

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止による休館中も積極的にInstagramなどSNSによる展示動物の情報発信に努めました。関門海峡潮流水槽でのダイバーによる解説やスナメリの給餌解説などの通常イベント、イルカタッチやペンギンタッチなどの体験型イベントは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止しましたが、解説パネルをより分かりやすく工夫・改善して生き物の生態などの普及啓発を行いました。
- ② 瀬戸内海水槽のししおどし演出について、水が落ちる頻度を高めて臨場感の高揚を図りました。また、日本海水槽において、ウミガメが着底して休む行動を強化した結果、1個体が水底に留まるようになったほか、LED照明などを用いて生き物の体色を明快に感じられる工夫を施すなど、生き物の生き様を伝えるための展示を充実させました。
- ③ 海響館で初めての繁殖に成功した下関市内に生息するヤマトシマドジョウの繁殖個体の展示を行いました。
- ④ フグ目魚類は約100種の常設展示を継続し、展示種類数として世界随一を維持させました。
- ⑤ アクアシアターのプレゼンテーションは、イルカとアシカの共演スタイルを継続し、新テーマ「Five rules～トレーナーのひみつ～」と題してトレーナーが使っている合図やホイッスルのひみつなどの解説を交えて海生哺乳類の特性や能力などをわかりやすく紹介しました。
- ⑥ 亜南極ゾーンでの「ペンギン大編隊」のイベントは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止期間を設けましたが、状況判断により可能な限り継続しました。また、温帯ゾーンではフンボルトペンギンの繁殖行動である穴掘りや巣材集めなど、野生と同様の行動の展示を継続しました。
- ⑦ 10周年を迎えたペンギン学校に新設したペンギン村キッズコーナーについては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために使用中止を継続したため、利用開始できませんでした。
- ⑧ 「夜の水族館」ならびに「特別企画展」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止しました。
- ⑨ 国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学校と連携して運営する「オープンラボ」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止を継続したため、利用再開できませんでした。
- ⑩ 総合的な学習として水族館館内の学習プログラム4件に対応しました。また就労体験型の飼育実習として2名の実習生（大学、専門学校生）、博物館実習として1名の実習生（大学生）を受け入れました。教育現場へ赴いての活動は、5件の出前講座を実施した他、各種団体の主催する講演などにも対応し、水族館の活動について広く周知するとともに来館意欲の促進を図りました。

工藤獣医師が山口大学共同獣医学部にて授業科目担当として講義を行いました。

- ⑪ 解説ボランティアの新規募集を行った結果、4名を新たに登録し、令和2年4月1日現在の登録者数は45名になりました。自主的な学習を支援する目的で、新人研修を既存登録者も参加できる形で実施しました。なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、通常活動としての来館者への解説補助は自粛とし、館内案内のみをお願いしました。研修会、海響館キッズフェスタならびに臨時休館中の活動を中止としました。
- ⑫ 公式ホームページは海響館の活動に関する最新情報を発信するツールとして活用し、年間288回の更新を行いました。また、ホームページの訪問者数（セッション数）は68万人（前年対比約78%）を上回り、総ページビュー数は約214万件（前年対比約71%）でした。一方、インスタグラムは、年間540回の投稿を行い、令和3年3月31日現在のフォロワー数は1.7万人となりました。更に、フェイスブックへの投稿は、年間524回行うなど、特に臨時休館中は投稿頻度を高め、情報発信を強化しました。
- ⑬ 全日本博物館学会第46回研究大会にWeb参加し、1題の口頭発表を行いました。本発表は、地域の教育資源を活用した海洋教育プログラム「海響館と巡る“みずぶ”が見た海の世界」の取組などを紹介した内容で、継続実施を予定していた当該海洋教育プログラムは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止しました。
- ⑭ 館内外の教育資源を活用した新たな海洋教育プログラムの作成に取り組みましたが、実施は次年度以降といたしました。
- ⑮ 3階フグコーナーで展開している「ズームアップフグの不思議」にて、テーマを「かわいい！のひ・み・つ♥」に変更しました。
- ⑯ 話題性のある生物の展示として、七夕、ハロウィン、ひな祭りなどにちなんだ特別展示を行いました。
- ⑰ 参加型展示としての「魚のエサやり体験」や「バックヤードであったか磯の観察会」や、飼育スタッフによる給餌解説などは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止しました。
- ⑱ 4～10月に「海響あーとコンテスト歴代優秀作品展」を、10～3月に「令和2年度海響あーとコンテスト作品展」を開催しました。
- ⑲ かざすAI図鑑アプリ「LINNÉLENS」を使った新体感イベントを令和3年2月の契約満了をもって終了しました。

(5) 下関市の観光レクリエーション事業の振興に関する事業

- ① 近隣観光施設と提携した観光客誘致活動を行いました。
- ② 広報宣伝事業
 - i. 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密集の発生につながると思われた全てのイベントを中止し、PRを控えました。
 - ii. テレビ宣伝については、令和2年春期のCM出稿を取り止め、パブリシティはキャンセルとし、YABのウェザーリポート、TNCの天気フィラのみ放送としました。夏期並びに令和2年春期においては、CM出稿数を抑え、パブリシティによる取材は無しとしました。ラジオ宣伝については、下関市内のFMラジオ局においてオリジナル番組「海響館まるごと情報局」を制作し6月～3月の期間でPRを行った他、同番組のインターネットラジオ

での配信が継続されました。新聞、雑誌、タウン誌、情報誌などには、ニュースリリースの発信のみならず、積極的な情報提供を広く行い、パブリシティによる広報活動を行いました。

- iii. 市内に設置している広告看板により海響館のPRを行いました。
- iv. 市内路線バスでの車内放送による宣伝活動も行いました。
- v. 地域協賛広告、市内のPR活動として維新・海峡ウォーク、しものせき海峡まつり、海峡花火大会などへの協賛ならびに観光宣伝隊による誘致活動は、開催中止などに伴い実施しておりません。
- vii. 下関市が主催するイベントにペンギン村PRキャラクターの着ぐるみを貸出し、イベントを盛り上げるとともにペンギン村のPRを行い、他団体との連携した広報宣伝活動を行いました。
- viii. オフィシャルホームページにて、年間を通じ最新情報を発信した他、ビジネスアカウントによるフェイスブック、インスタグラムでの情報発信も行いました。
- ix. 広報・報道資料として40件を発信し、テレビ、ラジオ、新聞など91件の取材を受け、海響館情報がマスコミに取り上げられました。

③ 観光資源の開発及び観光事業関係団体等との連携

- i. モアしものせき委員会(海峡メッセ・海響館・唐戸市場・カモンワーフ・はい!からつと横丁)によるインターネット広告や雑誌への掲出を行いました。また、はい!からつと横丁との連携による、観覧車との「バリューチケット」、美祢市、長門市との連携による、秋芳洞、金子みすゞ記念館との「トライアングルチケット」及び、開館以来提携している海峡ゆめタワーとの「ダブルチケット」の販売も継続して行いました。
- ii. 山口県観光スポーツ文化政策課との連携により「2020年度観光客満足度調査」を行いました。
- iii. みんなでひとりキャンペーン実行委員会主催「しものせき STAYHOME プロジェクト みんなでひとりキャンペーン」に協力しました。
- iv. 2020年しものせき観光キャンペーンに協力しました。
- v. 下関市が主催するイルミネーション水族館に協力しました。
- vi. 下関の特色ある水産物であるフグ・ウニ・クジラに関する下関ブランドを含む物産商品を海響館売店においても積極的に陳列、販売を行いました。また、下関くじら食文化を守る会の会員として加盟継続しました。

(6) 下関市立しものせき水族館の事業に関連する収益事業

- ① ミュージアムショップを運営し、オリジナルグッズなどの商品開発を行いました。
- ② 11月より、当財団が業務委託した株式会社ジャパンシステムイノベーションが2階休憩コーナーで新たに「真珠取り出し体験イベント」を開始しました。
- ③ レストランの運営は令和元年度に引続き株式会社ブランドゥに業務委託しています。

(7) その他

- ① 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、正面玄関入口にサーモカメラを設置するとともにアルコール消毒噴霧器を各所に設置したほか、館内の定期的な消毒の実施、換気、ビニールカーテンの設置などを行いました。
- ② 第59回福岡広告協会賞にて、「海響館 HEARTBEATSEAPHONY」がWEB映像部門銀賞ならびにテレビCM15秒以内部門銅賞を受賞しました。
- ③ 2階エントランスにおいて客用ロッカーの設置場所を変更し、利便性を向上させました。
- ④ 令和元年度実施しましたQRコードを利用したオンラインによる来館者アンケート調査は、例年と社会状況および入館者状況が異なるため実施しませんでした。

令和2年度 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	41,566,832	25,722,194	15,844,638
普通預金	356,156,392	335,126,212	21,030,180
郵便振替専用口座	520	146,500	△ 145,980
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
売掛金	1,545,214	0	1,545,214
未収金	16,339,953	34,074,700	△ 17,734,747
たな卸資産	891,446	1,151,506	△ 260,060
前払金	188,947	67,435	121,512
前払費用	42,739	38,427	4,312
立替金	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	466,732,043	446,326,974	20,405,069
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	49,000,000	49,000,000	0
基本財産引当預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	149,000,000	149,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	58,074,340	47,328,754	10,745,586
役員退職慰労引当資産	15,210,000	14,365,000	845,000
特定資産合計	73,284,340	61,693,754	11,590,586
(3) その他固定資産			
什器備品	33,528,312	31,273,312	2,255,000
減価償却累計額	△ 28,565,366	△ 25,354,202	△ 3,211,164
電話加入権	1,512,000	1,512,000	0
その他固定資産合計	6,474,946	7,431,110	△ 956,164
固定資産合計	228,759,286	218,124,864	10,634,422
資産合計	695,491,329	664,451,838	31,039,491
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	11,171,022	6,484,677	4,686,345
未払金	222,557,960	218,723,510	3,834,450
未払法人税等	820,800	97,600	723,200
未払消費税等	9,181,208	4,120,058	5,061,150
預り金	2,889,984	2,908,284	△ 18,300
仮受金	6,998,954	4,389,480	2,609,474
賞与引当金	14,446,029	12,230,151	2,215,878
流動負債合計	268,065,957	248,953,760	19,112,197
2. 固定負債			
退職給付引当金	58,074,340	47,328,754	10,745,586
役員退職慰労引当金	15,210,000	14,365,000	845,000
固定負債合計	73,284,340	61,693,754	11,590,586
負債合計	341,350,297	310,647,514	30,702,783
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
2. 一般正味財産	354,141,032	353,804,324	336,708
(うち基本財産への充当額)	(149,000,000)	(149,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	354,141,032	353,804,324	336,708
負債及び正味財産合計	695,491,329	664,451,838	31,039,491

令和2年度 貸借対照表内訳表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金	3,280,262	38,110,393	176,177		41,566,832
普通預金	165,196,691	135,805,856	55,153,845		356,156,392
郵便振替専用口座	520	0	0		520
定期預金	0	50,000,000	0		50,000,000
売掛金	0	1,545,214	0		1,545,214
未収金	6,790,741	549,212	9,000,000		16,339,953
たな卸資産	0	891,446	0		891,446
前払金	188,947	0	0		188,947
前払費用	4,096	0	38,643		42,739
立替金	0	0	0		0
仮払金	0	0	0		0
流動資産合計	175,461,257	226,902,121	64,368,665	0	466,732,043
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	49,000,000	0	0		49,000,000
基本財産引当預金	100,000,000	0	0		100,000,000
基本財産合計	149,000,000	0	0	0	149,000,000
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	51,105,419	0	6,968,921		58,074,340
役員退職慰労引当資産	10,647,000	1,521,000	3,042,000		15,210,000
特定資産合計	61,752,419	1,521,000	10,010,921	0	73,284,340
(3) その他固定資産					
什器備品	0	31,273,312	2,255,000		33,528,312
減価償却累計額	0	△ 28,114,366	△ 451,000		△ 28,565,366
電話加入権	226,800	151,200	1,134,000		1,512,000
その他固定資産合計	226,800	3,310,146	2,938,000	0	6,474,946
固定資産合計	210,979,219	4,831,146	12,948,921	0	228,759,286
資産合計	386,440,476	231,733,267	77,317,586	0	695,491,329
II 負債の部					
1. 流動負債					
買掛金	0	11,171,022	0		11,171,022
未払金	153,529,265	14,357,828	54,670,867		222,557,960
未払法人税等	0	820,800	0		820,800
未払消費税等	0	△ 385,266	9,566,474		9,181,208
預り金	2,883,348	5,411	1,225		2,889,984
仮受金	6,998,954	0	0		6,998,954
賞与引当金	12,049,690	462,240	1,934,099		14,446,029
流動負債合計	175,461,257	26,432,035	66,172,665	0	268,065,957
2. 固定負債					
退職給付引当金	51,105,419	0	6,968,921		58,074,340
役員退職慰労引当金	10,647,000	1,521,000	3,042,000		15,210,000
固定負債合計	61,752,419	1,521,000	10,010,921	0	73,284,340
負債合計	237,213,676	27,953,035	76,183,586	0	341,350,297
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産	0	0	0		0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
2. 一般正味財産	149,226,800	203,780,232	1,134,000		354,141,032
(うち基本財産への充当額)	(149,000,000)	(0)	(0)		(149,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
正味財産合計	149,226,800	203,780,232	1,134,000	0	354,141,032
負債及び正味財産合計	386,440,476	231,733,267	77,317,586	0	695,491,329

令和2年度 貸借対照表(公益目的事業会計)

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	3,280,262	198,821	3,081,441
普通預金	165,196,691	143,954,160	21,242,531
郵便振替専用口座	520	146,500	△ 145,980
定期預金	0	0	0
売掛金	0	0	0
未収金	6,790,741	1,040,777	5,749,964
たな卸資産	0	0	0
前払金	188,947	67,435	121,512
前払費用	4,096	0	4,096
立替金	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	175,461,257	145,407,693	30,053,564
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	49,000,000	49,000,000	0
基本財産引当預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	149,000,000	149,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	51,105,419	41,176,016	9,929,403
役員退職慰労引当資産	10,647,000	10,055,500	591,500
特定資産合計	61,752,419	51,231,516	10,520,903
(3) その他固定資産			
什器備品	0	0	0
減価償却累計額	0	0	0
電話加入権	226,800	226,800	0
その他固定資産合計	226,800	226,800	0
固定資産合計	210,979,219	200,458,316	10,520,903
資産合計	386,440,476	345,866,009	40,574,467
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	0	0	0
未払金	153,529,265	127,762,512	25,766,753
未払法人税等	0	0	0
未払消費税等	0	0	0
預り金	2,883,348	2,900,146	△ 16,798
仮受金	6,998,954	4,389,480	2,609,474
賞与引当金	12,049,690	10,355,555	1,694,135
流動負債合計	175,461,257	145,407,693	30,053,564
2. 固定負債			
退職給付引当金	51,105,419	41,176,016	9,929,403
役員退職慰労引当金	10,647,000	10,055,500	591,500
固定負債合計	61,752,419	51,231,516	10,520,903
負債合計	237,213,676	196,639,209	40,574,467
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	149,226,800	149,226,800	0
(うち特定資産への充当額)	(149,000,000)	(149,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	149,226,800	149,226,800	0
負債及び正味財産合計	386,440,476	345,866,009	40,574,467

令和2年度 貸借対照表(収益事業等会計)

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	38,110,393	25,359,681	12,750,712
普通預金	135,805,856	170,647,548	△ 34,841,692
郵便振替専用口座	0	0	0
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
売掛金	1,545,214	0	1,545,214
未収金	549,212	177,869	371,343
たな卸資産	891,446	1,151,506	△ 260,060
前払金	0	0	0
前払費用	0	0	0
立替金	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	226,902,121	247,336,604	△ 20,434,483
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	0	0	0
基本財産引当預金	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	0	0	0
役員退職慰労引当資産	1,521,000	1,436,500	84,500
特定資産合計	1,521,000	1,436,500	84,500
(3) その他固定資産			
什器備品	31,273,312	31,273,312	0
減価償却累計額	△ 28,114,366	△ 25,354,202	△ 2,760,164
電話加入権	151,200	151,200	0
その他固定資産合計	3,310,146	6,070,310	△ 2,760,164
固定資産合計	4,831,146	7,506,810	△ 2,675,664
資産合計	231,733,267	254,843,414	△ 23,110,147
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	11,171,022	6,484,677	4,686,345
未払金	14,357,828	43,008,413	△ 28,650,585
未払法人税等	820,800	97,600	723,200
未払消費税等	△ 385,266	150,455	△ 535,721
預り金	5,411	5,411	0
仮受金	0	0	0
賞与引当金	462,240	216,834	245,406
流動負債合計	26,432,035	49,963,390	△ 23,531,355
2. 固定負債			
退職給付引当金	0	0	0
役員退職慰労引当金	1,521,000	1,436,500	84,500
固定負債合計	1,521,000	1,436,500	84,500
負債合計	27,953,035	51,399,890	△ 23,446,855
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	203,780,232	203,443,524	336,708
負債及び正味財産合計	231,733,267	254,843,414	△ 23,110,147

令和2年度 貸借対照表(法人会計)

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	176,177	163,692	12,485
普通預金	55,153,845	20,524,504	34,629,341
郵便振替専用口座	0	0	0
定期預金	0	0	0
売掛金	0	0	0
未収金	9,000,000	32,856,054	△ 23,856,054
たな卸資産	0	0	0
前払金	0	0	0
前払費用	38,643	38,427	216
立替金	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	64,368,665	53,582,677	10,785,988
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	0	0	0
基本財産引当預金	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	6,968,921	6,152,738	816,183
役員退職慰労引当資産	3,042,000	2,873,000	169,000
特定資産合計	10,010,921	9,025,738	985,183
(3) その他固定資産			
什器備品	2,255,000	0	2,255,000
減価償却累計額	△ 451,000	0	△ 451,000
電話加入権	1,134,000	1,134,000	0
その他固定資産合計	2,938,000	1,134,000	1,804,000
固定資産合計	12,948,921	10,159,738	2,789,183
資産合計	77,317,586	63,742,415	13,575,171
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	0	0	0
未払金	54,670,867	47,952,585	6,718,282
未払法人税等	0	0	0
未払消費税等	9,566,474	3,969,603	5,596,871
預り金	1,225	2,727	△ 1,502
仮受金	0	0	0
賞与引当金	1,934,099	1,657,762	276,337
流動負債合計	66,172,665	53,582,677	12,589,988
2. 固定負債			
退職給付引当金	6,968,921	6,152,738	816,183
役員退職慰労引当金	3,042,000	2,873,000	169,000
固定負債合計	10,010,921	9,025,738	985,183
負債合計	76,183,586	62,608,415	13,575,171
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	1,134,000	1,134,000	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	1,134,000	1,134,000	0
負債及び正味財産合計	77,317,586	63,742,415	13,575,171

令和2年度 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	10,000	10,082	△ 82
② 受取会費			
賛助会員受取会費	13,161,350	17,504,450	△ 4,343,100
③ 事業収益			
管理受託事業収益	784,278,380	810,294,470	△ 26,016,090
館内販売事業収益	115,837,345	214,869,752	△ 99,032,407
レストラン事業収益	1,425,000	1,800,000	△ 375,000
写真販売事業収益	533,990	1,569,716	△ 1,035,726
自動販売機等事業収益	10,421,258	15,872,911	△ 5,451,653
④ 受取補助金等			
受取国庫補助金	1,123,000	0	1,123,000
⑤ 雑収益			
受取利息	5,500	5,523	△ 23
雑収益	3,454,426	2,980,640	473,786
経常収益計	930,250,249	1,064,907,544	△ 134,657,295
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	9,180,000	6,240,000	2,940,000
給料	92,979,809	97,857,252	△ 4,877,443
職員手当	65,556,551	67,434,942	△ 1,878,391
退職給付費用	10,055,675	6,407,322	3,648,353
役員退職慰労金	676,000	845,000	△ 169,000
福利厚生費	27,289,651	28,524,984	△ 1,235,333
臨時職員賃金	22,411,509	21,598,144	813,365
会議費	0	12,900	△ 12,900
旅費交通費	581,680	2,137,400	△ 1,555,720
通信運搬費	1,003,915	1,221,762	△ 217,847
減価償却費	2,760,164	2,846,987	△ 86,823
消耗什器備品費	38,581,177	5,034,073	33,547,104
消耗品費	24,700,193	25,713,959	△ 1,013,766
水族購入費	4,482,775	5,226,210	△ 743,435
展示資料購入費	0	19,025	△ 19,025
飼料購入費	29,957,163	31,008,786	△ 1,051,623
原材料費	278,368	280,437	△ 2,069
修繕費	31,789,801	19,844,696	11,945,105
印刷製本費	1,961,300	3,808,712	△ 1,847,412
燃料費	809,963	896,147	△ 86,184
光熱水料費	161,684,825	188,020,845	△ 26,336,020
賃借料	10,190,387	13,866,718	△ 3,676,331
保険料	1,030,990	1,087,810	△ 56,820
諸謝金	0	0	0
手数料	1,590,131	2,512,454	△ 922,323
広報宣伝費	0	0	0
租税公課	2,883,915	4,336,031	△ 1,452,116
支払負担金	299,999	499,000	△ 199,001
委託費	183,633,603	237,244,606	△ 53,611,003
期首商品棚卸高	1,151,506	404,140	747,366
館内販売仕入費	76,045,565	143,078,307	△ 67,032,742
期末商品棚卸高	△ 891,446	△ 1,151,506	260,060
雑費	3,880	18,800	△ 14,920

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
② 管理費			
役員報酬	3,058,800	1,901,400	1,157,400
給料	12,499,681	14,232,248	△ 1,732,567
職員手当	9,826,876	10,143,776	△ 316,900
退職給付費用	835,051	891,761	△ 56,710
役員退職慰労金	169,000	0	169,000
福利厚生費	3,870,307	4,151,293	△ 280,986
臨時職員賃金	3,439,372	2,949,140	490,232
会議費	472,869	581,474	△ 108,605
旅費交通費	490,390	2,373,819	△ 1,883,429
交際費	10,000	0	10,000
通信運搬費	1,486,875	1,960,675	△ 473,800
減価償却費	451,000	0	451,000
消耗什器備品費	0	441,691	△ 441,691
消耗品費	4,281,379	3,422,047	859,332
原材料費	6,659	2,931	3,728
修繕費	1,446,178	1,131,442	314,736
印刷製本費	502,700	688,689	△ 185,989
燃料費	59,925	100,204	△ 40,279
光熱水料費	8,466,346	9,821,829	△ 1,355,483
賃借料	3,989,474	4,319,997	△ 330,523
保険料	585,670	590,910	△ 5,240
諸謝金	0	0	0
手数料	3,800,377	9,122,468	△ 5,322,091
広報宣伝費	2,662,000	5,419,244	△ 2,757,244
租税公課	24,077,643	19,132,922	4,944,721
支払負担金	763,730	1,137,630	△ 373,900
委託費	39,158,390	53,081,297	△ 13,922,907
雑費	3,000	0	3,000
経常費用計	929,092,741	1,064,474,830	△ 135,382,089
評価損益等調整前当期経常増減額	1,157,508	432,714	724,794
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,157,508	432,714	724,794
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益			
什器備品売却益	0	0	0
電話加入権売却益	0	0	0
② 固定資産受贈益			
投資有価証券受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産売却損			
什器備品売却損	0	0	0
電話加入権売却損	0	0	0
② 固定資産減損損失			
投資有価証券減損損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,157,508	432,714	724,794
法人税、住民税及び事業税	820,800	97,600	723,200
当期一般正味財産増減額	336,708	335,114	1,594
一般正味財産期首残高	353,804,324	353,469,210	335,114
一般正味財産期末残高	354,141,032	353,804,324	336,708
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	354,141,032	353,804,324	336,708

令和2年度 正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
	水族館事業	売店等事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息	10,000	0	0		10,000
② 受取会費					
賛助会員受取会費	13,161,350	0	0		13,161,350
③ 事業収益					
管理受託事業収益	668,166,481	0	116,111,899		784,278,380
館内販売事業収益	0	115,837,345	0		115,837,345
レストラン事業収益	0	1,425,000	0		1,425,000
写真販売事業収益	0	533,990	0		533,990
自動販売機等事業収益	0	10,421,258	0		10,421,258
④ 受取補助金等					
受取国庫補助金	0	0	1,123,000		1,123,000
⑤ 雑収益					
受取利息	0	5,500	0		5,500
雑収益	0	3,275,633	178,793		3,454,426
経常収益計	681,337,831	131,498,726	117,413,692	0	930,250,249
(2) 経常費用					
① 事業費					
役員報酬	7,560,000	1,620,000			9,180,000
給料	90,269,609	2,710,200			92,979,809
職員手当	62,920,080	2,636,471			65,556,551
退職給付費用	10,055,675	0			10,055,675
役員退職慰労金	591,500	84,500			676,000
福利厚生費	25,684,772	1,604,879			27,289,651
臨時職員賃金	16,286,051	6,125,458			22,411,509
会議費	0	0			0
旅費交通費	581,680	0			581,680
通信運搬費	854,888	149,027			1,003,915
減価償却費	0	2,760,164			2,760,164
消耗什器備品費	38,581,177	0			38,581,177
消耗品費	21,137,998	3,562,195			24,700,193
水族購入費	4,482,775	0			4,482,775
展示資料購入費	0	0			0
飼料購入費	29,957,163	0			29,957,163
原材料費	278,368	0			278,368
修繕費	31,789,801	0			31,789,801
印刷製本費	1,961,300	0			1,961,300
燃料費	809,963	0			809,963
光熱水料費	159,782,024	1,902,801			161,684,825
賃借料	3,695,362	6,495,025			10,190,387
保険料	1,030,990	0			1,030,990
諸謝金	0	0			0
手数料	1,096,065	494,066			1,590,131
広報宣伝費	0	0			0
租税公課	0	2,883,915			2,883,915
支払負担金	0	299,999			299,999
委託費	174,930,590	8,703,013			183,633,603
期首商品棚卸高	0	1,151,506			1,151,506
館内販売仕入費	0	76,045,565			76,045,565
期末商品棚卸高	0	△ 891,446			△ 891,446
雑費	0	3,880			3,880

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
	水族館事業	売店等事業			
② 管理費					
役員報酬			3,058,800		3,058,800
給料			12,499,681		12,499,681
職員手当			9,826,876		9,826,876
退職給付費用			835,051		835,051
役員退職慰労金			169,000		169,000
福利厚生費			3,870,307		3,870,307
臨時職員賃金			3,439,372		3,439,372
会議費			472,869		472,869
旅費交通費			490,390		490,390
交際費			10,000		10,000
通信運搬費			1,486,875		1,486,875
減価償却費			451,000		451,000
消耗什器備品費			0		0
消耗品費			4,281,379		4,281,379
原材料費			6,659		6,659
修繕費			1,446,178		1,446,178
印刷製本費			502,700		502,700
燃料費			59,925		59,925
光熱水料費			8,466,346		8,466,346
賃借料			3,989,474		3,989,474
保険料			585,670		585,670
諸謝金			0		0
手数料			3,800,377		3,800,377
広報宣伝費			2,662,000		2,662,000
租税公課			24,077,643		24,077,643
支払負担金			763,730		763,730
委託費			39,158,390		39,158,390
雑費			3,000		3,000
経常費用計	684,337,831	118,341,218	126,413,692	0	929,092,741
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,000,000	13,157,508	△ 9,000,000	0	1,157,508
評価損益等計	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 3,000,000	13,157,508	△ 9,000,000	0	1,157,508
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
① 固定資産売却益					
什器備品売却益	0	0	0		0
電話加入権売却益	0	0	0		0
② 固定資産受贈益					
投資有価証券受贈益	0	0	0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
① 固定資産売却損					
什器備品売却損	0	0	0		0
電話加入権売却損	0	0	0		0
② 固定資産減損損失					
投資有価証券減損損失	0	0	0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	3,000,000	△ 12,000,000	9,000,000		0
税引前当期一般正味財産増減額	0	1,157,508	0	0	1,157,508
法人税、住民税及び事業税	0	820,800	0		820,800
当期一般正味財産増減額	0	336,708	0	0	336,708
一般正味財産期首残高	149,226,800	203,443,524	1,134,000		353,804,324
一般正味財産期末残高	149,226,800	203,780,232	1,134,000	0	354,141,032
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	149,226,800	203,780,232	1,134,000	0	354,141,032

令和2年度 正味財産増減計算書(収益事業等会計)

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科目	予 算 額				決 算 額 (b)	差 異 (a) - (b)	前年度決算額 (c)	増 減 (b) - (c)
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	計 (a)				
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 事業収益								
館内販売事業収益	271,047,000			271,047,000	115,837,345	155,209,655	214,869,752	△ 99,032,407
レストラン事業収益	1,800,000			1,800,000	1,425,000	375,000	1,800,000	△ 375,000
写真販売事業収益	1,855,000			1,855,000	533,990	1,321,010	1,569,716	△ 1,035,726
自動販売機等事業収益	19,366,000			19,366,000	10,421,258	8,944,742	15,872,911	△ 5,451,653
② 雑収益								
受取利息	5,500			5,500	5,500	0	5,523	△ 23
雑収益	2,798,000			2,798,000	3,275,633	△ 477,633	2,965,527	310,106
経常収益計	296,871,500	0	0	296,871,500	131,498,726	165,372,774	237,083,429	△ 105,584,703
(2) 経常費用								
① 事業費								
役員報酬	2,220,000			2,220,000	1,620,000	600,000	780,000	840,000
給料	3,895,000			3,895,000	2,710,200	1,184,800	3,969,800	△ 1,259,600
職員手当	5,790,400			5,790,400	2,636,471	3,153,929	2,837,809	△ 201,338
退職給付費用	111,000			111,000	0	111,000	439,380	△ 439,380
役員退職慰労金	243,900			243,900	84,500	159,400	0	84,500
福利厚生費	3,272,600			3,272,600	1,604,879	1,667,721	1,740,414	△ 135,535
臨時職員賃金	17,463,000		△ 8,836,080	8,626,920	6,125,458	2,501,462	6,090,759	34,699
会議費	240,000			240,000	0	240,000	12,900	△ 12,900
旅費交通費	246,000			246,000	0	246,000	0	0
通信運搬費	258,000			258,000	149,027	108,973	152,423	△ 3,396
減価償却費	2,846,987			2,846,987	2,760,164	86,823	2,846,987	△ 86,823
消耗什器備品費	511,000			511,000	0	511,000	422,712	△ 422,712
消耗品費	6,043,000			6,043,000	3,562,195	2,480,805	3,578,928	△ 16,733
原材料費	0			0	0	0	0	0
修繕費	53,000			53,000	0	53,000	58,190	△ 58,190
印刷製本費	137,000			137,000	0	137,000	0	0
燃料費	0			0	0	0	0	0
光熱水料費	3,105,000			3,105,000	1,902,801	1,202,199	2,857,994	△ 955,193
賃借料	12,269,000			12,269,000	6,495,025	5,773,975	9,953,607	△ 3,458,582
保険料	0			0	0	0	0	0
諸謝金	0			0	0	0	0	0
手数料	1,400,000			1,400,000	494,066	905,934	1,201,902	△ 707,836
広報宣伝費	0			0	0	0	0	0
租税公課	8,760,000			8,760,000	2,883,915	5,876,085	4,336,031	△ 1,452,116
支払負担金	1,110,000			1,110,000	299,999	810,001	499,000	△ 199,001
委託費	3,036,000		8,836,080	11,872,080	8,703,013	3,169,067	19,004,649	△ 10,301,636
期首商品棚卸高	2,230,493			2,230,493	1,151,506	1,078,987	404,140	747,366
館内販売仕入費	174,526,000			174,526,000	76,045,565	98,480,435	143,078,307	△ 67,032,742
期末商品棚卸高	△ 2,230,493			△ 2,230,493	△ 891,446	△ 1,339,047	△ 1,151,506	260,060
雑費	100,000			100,000	3,880	96,120	18,800	△ 14,920
経常費用計	247,636,887	0	0	247,636,887	118,341,218	129,295,669	203,133,226	△ 84,792,008
評価損益等調整前当期経常増減額	49,234,613	0	0	49,234,613	13,157,508	36,077,105	33,950,203	△ 20,792,695
評価損益等計	0			0	0	0	0	0
当期経常増減額	49,234,613	0	0	49,234,613	13,157,508	36,077,105	33,950,203	△ 20,792,695
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
① 固定資産売却益								
什器備品売却益	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却益	0			0	0	0	0	0
② 固定資産受贈益								
投資有価証券受贈益	0			0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
① 固定資産売却損								
什器備品売却損	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却損	0			0	0	0	0	0
② 固定資産減損損失								
投資有価証券減損損失	0			0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	△ 39,670,100			△ 39,670,100	△ 12,000,000	△ 27,670,100	△ 33,517,489	21,517,489
税引前当期一般正味財産増減額	9,564,513	0	0	9,564,513	1,157,508	8,407,005	432,714	724,794
法人税、住民税及び事業税	2,618,000			2,618,000	820,800	1,797,200	97,600	723,200
当期一般正味財産増減額	6,946,513	0	0	6,946,513	336,708	6,609,805	335,114	1,594
一般正味財産期首残高	183,338,273			183,338,273	203,443,524	△ 20,105,251	203,108,410	335,114
一般正味財産期末残高	190,284,786	0	0	190,284,786	203,780,232	△ 13,495,446	203,443,524	336,708
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0			0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高				0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	190,284,786	0	0	190,284,786	203,780,232	△ 13,495,446	203,443,524	336,708

